令和7年第2回大和村議会定例会
一般質問通告書一覧
日程:6月13日(金)(午前2名 午後3名 開議時間 午前 10:15～ 午後13:30～)

No.	1	重信 安男

質 問 事 項	要 旨
1. 建設業による公共工事の取り組み方	1) 公共工事発注の仕方と指名業者の選定について、行政としてどのような審査を行っているのか。 2) 下請け企業に対する制度の在り方として、村・県発注ともに下請けを使う時には、地元企業を優先して契約する事は出来ないのか。
2.遺産地だけでなく他に身近な環境問題に取り組むべきでは	1) 昔から意見がある環境問題として、廃棄同然の船が本村でも多数あるが、国や県に要望し、処分していただけないのか。 2) 広域全体で考えていくべき課題として、奄美本島内に最終処分場の建設は出来ないのか。

No.	2	市田 実孝

質 問 事 項	要　旨
1．定住促進について	1）　村内で新築住宅建設希望者のため、各集落ごとに住宅用地を把握確保し、村の広報誌等で常に情報提供していけないのか。 2）　村内集落ごとに設定されたハザードマップは、村民に周知利用されているか。安心安全な指定外の村内住居はどの程度ある状況か。 3）　移住希望者のための村の宅地供給体制は十分であるか。宅地造成事業は計画できないか。 4）　国は今後、独居老人世帯が増加し、独身世帯も 40 パーセントを超えるのは時間の問題だとしているが、今後、村の住宅建設は、独身世帯を対象とした単身住宅を増やす必要はないか。
2．ひらとみ神社周辺の環境整備について	1）　サトウキビひらとみ神社には、キビの発祥を祭ることから、村内景勝地同様に多くの研究者をはじめ観光客が訪れているが、休憩場所を整備検討していただけないか。 2）　思勝老人オリーブの会は二ヶ月ごとに花園の整備や草刈り等での作業時の休憩場所がなく、毎回地べたで休憩し難儀をしている状況にあり、神社前の旧村道の残地にテーブル・椅子を設置していただけないか。

No.	3	奥田 浩一

質 問 事 項	要　旨
1．大和村内に有し、行政が係る村営住宅、その他教員住宅等について	1） 募集住宅の情報は、役場ホームページには随時募集と謳われているが、実際そのような募集がなされているのか。 2） 空き家ラボと行政が協力して携わった、村内の空き家の利用状況は。 3) 現在村内に有する教員住宅の戸数並びに利用状況は。 4) 企画観光課が議会に承認を受け購入した津名久の戸建住宅はどうなっているのか。 5) 宮古崎トンネルも完成し、奄美市内へのアクセスも良くなり、ベッドタウンとしても好立地な大和村に居住したい希望者が増えている中、住宅整備が追いついていない状況だが、本村は本気で人口増加を望んでいるのか。

No.	4	勝山 浩平

質 問 事 項	要　旨
1．子どもの習い事助成制度の創設を求めて!	1）村内の子育て世代から、子どもの習い事に対する経済支援を求める声が根強く寄せられております。本村の第3期子ども・子育て支援事業計画には、「子どもや子育て当事者に寄り添い、ともに進んでいくことで、子どもが夢と希望を持って、健やかに安心して暮らすことのできるむらの実現」が掲げられていますが、その実現に向けて、すべての子どもたちが平等に多様な学びや経験を積むことができるよう、スポーツ、芸術、学習などの習い事に対して費用助成制度を創設できないか、お尋ねします。 2）　5月に開催された「子ども劇場（県子ども芸術祭典）」は、子どもたちの文化芸術体験の機会として大変好評だったと聞いています。しかし、その一方で、チケット代が多子世帯などにとって大きな負担であったとの声もあります。文化芸術や遊びの体験を通じて、子どもと親がともに育ち合える環境を整えるためにも、次回の参加費について、料金負担の軽減策を講じることはできないでしょうか。
2．集落老人クラブへの活動助成金の拡充について	1）　老人クラブは、高齢者が地域で生きがいや健康を維持するための大切な拠点ですが、集落によっては資金不足により、活動が制限されているという声が複数の関係者から上がっております。村の施政方針では「すべての世代が幸せに年齢を重ねる『幸齢社会』の実現」を掲げていますが、その理念を現実のものとするためにも、各集落の老人クラブ活動に対する助成金の拡充を検討していただけないでしょうか。
3．村長交際費の情報公開について	1）村民から村長交際費の使途について関心が寄せられることがあります。交際費は、行政の円滑な運営に必要な部分もありますが、その透明性が確保されていなければ、不信を招くおそれもあります。村政への信頼と理解を深めるためにも、支出基準・公開基準を明確化し、村長交際費の使途を定期的に公開する制度の導入を検討していただけないでしょうか。

No.	5	奥田 忠廣

質 問 事 項	要　旨
1．ふるさと納税について	1）ふるさと納税は本村の貴重な収入源ではないのか。 2）ふるさと納税額が減少傾向にあるのではないのか。 3）返礼品はどのようなものか。どのように生産されているのか。生産業者がいるのか。いるのであれば、何業者いるのか。 4）納税者は大和市、板橋区でどれほどか。納税者の多い地域はどこか。2023 年度寄付人数が 2024 年度は減少しているが、原因は何か。 5）返礼品などの工夫、PR 不足でないのか。隣接自治体の 2024 年度納税額は、本村の 3 倍あるが、職員はやる気がないのではないか。専門機関に委託すべきでないか。 6）返礼品の中に「ハナハナ温泉入浴、食事優待券」「くろうさぎくるぐる入館優待券」「フォレストポリス宿泊優待券」「民宿など優待券」「NOP 法人 TAMASU」などの利用を含めた返礼品があるのか。ないのであれば、含めるべきでないのか。やるべきことは多くあるのではないのか